

# 平成30年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	540	多様な主体が参加する区政のしくみをつくる
施策	541	情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する
施策の目標	区民やすみだに関わる人に、まちへの愛着が生まれ、すみだでの暮らしや活動に誇りをもっています。さらに、すみだを愛する人がシティプロモーションの担い手となって情報発信し、「すみだの魅力」に共感が生まれています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「区と一緒に、区の事業やイベントなどを企画したり、実施したことがある」区民の割合									
指標名	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					20					30
実績	9.5									
指標名	区政全般に対する区民の満足度の点数									
指標名	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					65					70
実績	57.4									

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
	H28	641
	H29	853
	H30	

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	これまで行ってきた交流実績を基礎として、引き続き連携を強化していく必要があるため。

## 4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
【今後の具体的な方針】		

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	国内都市との交流促進	853	1,776	853	地方との交流や提携を促進する。	5	改善・見直し
						5	平成29年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

# 平成30年度 事務事業評価シート

施策	策	541 情報を戦略的に発信し、多様な主体と共有する	部内優先順位					
事務事業	国内都市との交流推進							
事業概要	友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流を推進することで、区民に様々な体験をする機会を提供するとともに、防災協定、広報協力など、様々な分野での協力関係を構築する。					主管課・係(担当)		
						文化芸術振興課文化芸術・国際担当 5608-6212		
施策への 関連性	地方との交流や連携を強化促進する。							
必要性・ 妥当性	区民のニーズ							
	代替可能性の状況(区が実施する必要性等)  友好都市との関係を基礎に、民間交流を展開しており、引き続き、区が友好都市との関係性を維持することは、区が担うべき業務である。							
有効性・ 適格性	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	国内友好都市との交流回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		5	H37	目 標 5	5	5	5	
		実績	5	5	5	5	5	
		/	H32	H33	H34	H35	H36	H37
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国内友好都市の回数を増やすことより、内容を充実させ、住民同士の交流を実現させることが大切と考える。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標					単 位	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		/	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目 標								
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	641	853						
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 経費は横ばいである。				

<b>1 必要性・妥当性</b>								
区民ニーズの有無	ある							
代替可能性の有無	ない							
区が実施すべき強い理由があるか	必須だが裁量余地あり							
判断理由								
国内都市との交流推進事業には、小布施町と直接関わる事業が含まれており、区民と町民、伝統工芸の職人と小学生徒との交流事業があるなど、幅広い年齢層との交流が図られている。								
<b>2 有効性・適格性</b>								
事業の目的が施策に合致しているか	合致している							
指標は目標値を満たしているか	満たしている							
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある							
判断理由		必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果			
28年度から住民間の交流がさらに図られるような内容で実施したことから十分効果が得られている。		4	5	4	4			
<b>3 効率性・経済性</b>		<b>改善・見直しの上継続</b>						
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない							
実施工程やコストに改善の余地がないか	ある							
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある							
判断理由								
参加者個々に係る経費については、受益者負担の観点から参加費を負担して行っている事業が主であることから、区と小布施町においてそれぞれ区民や町民に係る経費を負担し実施している事業である。								
中間・最終年度の講評	住民同士の交流が充実するよう、内容については適宜見直しを行っていく。							
今後の方向性	区民サービスの向上に資する事業であり、今後も継続していく。							